



おきむら

# 興村脳神経外科クリニック通信



（毎月15日発行）  
＜第25号＞ H27. 1月

皆様いかがお過ごしですか？

興村脳神経外科クリニック通信第25号をお届けします。

バックナンバーは当院のホームページからも閲覧できますのでご利用ください。 <http://www.okimura-nouge.com/>

昔、親族の年寄りたちが正月を迎え集まるたびに「また、一つ年を重ねてしまい、いやですね」などと言っていました。生意気な若造だった私は「年齢が増えるのは誕生日だから別に正月に感慨に耽る必要はない」などと思っていました。ところが最近では正月が来るたびに年を重ねた自分を思い、次の年男まで何年かをつい考えてしまっています。人間「立場」が変わると同じ状況に対する「解釈」も変わっていくものだと痛感させられています。

さて今月の話題は『立場』と『解釈』です。

医療従事者でない親族と正月などに会って話をすると、医療に対する質問をされることがあります。最近も「私は脳梗塞後、血液サラサラの薬を服用しており、今度、歯科治療が必要になった。歯科医師は薬の中止を指示し、現在の内科医師からは薬の継続を指示された。どうしたらいいかよく分からない」こんな質問がありました。歯科医師の『立場』からは抜歯などの処置の障害（止血に時間がかかる）になりそうな薬は中止したいという『解釈』ですし、内科医師の『立場』からは脳梗塞の予防のために必要な薬は継続が必要という『解釈』です。両者の『解釈』はそれぞれの医師の『立場』からは間違いではありません。しかしながらこの両者の『解釈』に欠けていたものがあります。それは医者自らが患者さんの『立場』での『解釈』をしなかったことです。だから患者さんは混乱してしまった訳です。私なら「サラサラの薬継続を原則とし、止血処置にいつもより時間がかかる手間をお詫びする紹介状を歯科医師宛に発行する」、このようにしたのではないかと思います。これが患者さんの『立場』での状況『解釈』であると信じます。同じ状況でも見る『立場』によって『解釈』が変わることは世の中でいくらでも起こり得ます。出来る限り患者さんの『立場』での『解釈』ができるそんなクリニックを目指していきたいと思っています。



乾燥してますので  
風邪に注意して下さい♪

## ◇健康診断のお知らせ◇

当院では、健康診断を実施しております。予約制となりますので、ご希望の方は受付へお申込みください。

検査項目等詳細は、別紙“健康診断のご案内”をご覧ください。

## ◆当院からのお願い

◆月初めには、保険証の提示をお願いいたします。

70歳以上の高齢受給者証をお持ちの方は、保険証と一緒にご提示ください。

◆お電話にてご予約される際は、まず診察券番号とお名前をお伝えくださいますようお願いいたします。  
☆H25. 3月より予約診療をしております

◆お引越し等で住所・電話番号が変更になった際は、お知らせください。

今後とも、クリニックならびにクリニック通信にご指導いただければ幸いです。

興村脳神経外科クリニック

